

		課長	係長	検算	設計

事業年度	平成 30 年度
事業種別	
工事番号	可公下 - 7

工事名 平成 30 年度 川合字烏帽子地内管渠布設工事

可児市 水道部 下水道課

件名	平成 30 年度 川合字烏帽子地内管渠布設工事		
施工場所	可児市 川合 地内		
金額	円	内消費税相当額	円
理 由			
本工事は、木曽川右岸流域関連可児市公共下水道事業に伴う事業認可区域内の管渠布設工 事を行う。			
概 要			
管渠工 一式 施工延長(区間距離) L=150.0m 管布設延長 RP φ 200 L=147.3m 組立マンホール設置工 一式 1 号組立マンホール N=1 基 楕円組立マンホール N=2 基 仮設工 一式			

特 記 仕 様 書

1. 一般事項

- (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。
- (2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
- (3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。
- (4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。
- (5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年 3 月 18 日付け国総施第 291 号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年 3 月 17 日付け国土交通省告示第 348 号）」もしくは「第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年 3 月 17 日付け国総施第 215 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。
排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7. 5 k w以上 2 6 0 k w以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

2. 産業廃棄物の適正処理について

- (1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。
- (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m³ 未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

3. 使用材料

- (1) コンクリート二次製品について
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
- (2) 生コンクリートについて
本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比 60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。
- (3) 無収縮モルタルについて
無収縮モルタルについては空袋管理を行うこと。

4. 工事施工について（一般）

- (1) 契約書 18 条第 1 項第 1 号から 5 号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
- (2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
- (3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
- (4) 工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
- (5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
- (6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

5. 工事施工について（下水道）

- (1) 掘削延長は、原則として、当日中に管布設及び埋戻しが完了する範囲とする。構造物基礎コンクリート打設により当日中に埋戻しができない場合には、適当な表示を行うなどして通行人などの危険防止に努めなければならない。
- (2) アスファルト舗装等の取壊しは、アスファルトカッター等を用い、切口が粗雑にならないようにしなければならない。
- (3) 過掘りになった部分については、良質土で埋戻しを行い、60～100kg 級タンパ又は同等以上の締固め機械で十分締固め、管等の沈下がないようにしなければならない。
- (4) 床付面に予期しない不良土質が現れた場合には、監督員に報告しその指示に従わなければならない。
- (5) 碎石埋戻しは、管両側同時かつ均等に埋戻し入念に締固めを行い、管の沈下及び移動が生じないように施工しなければならない。
- (6) 埋戻しは、一層の仕上り厚さを 20cm 以下とし、各層ごとにタンパ（60～100kg）又は同等以上の締固め機械で締固めなければならない。
- (7) 路床部の埋戻し材は、現場発生土の有効利用を原則とするが、発生土の使用にあたっては CBR 等により、監督員と協議を行い、決める。
- (8) 仮復旧は毎日、管布設及び埋戻しが完了した範囲を行うものとする。
- (9) 交通量が少なく路盤での開放が可能な箇所は、監督員と協議をし、一週間以内に仮舗装を行うこと。また、本復旧までに不陸や破損が発生したときは、速やかに補修すること。
- (10) 一週間に一度仮復旧した箇所を監督員が検査を行い、車両走行に対して危険性があると判断されたときは、速やかに仮舗装をめぐり取り、再施工とすること。
- (11) マンホール間（1 スパン）の最初の配管は起点になる部分であるため、接合する管の芯出し、位置決めは特に正確に行うものとする。
- (12) 管は原則として順次上流側に向けて接合しなければならない。
- (13) 管の接合に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。
- (14) マンホール蓋のすりつけは、監督員と十分に検討し、雨水の流入がないように設置すること。
- (15) インバート表面及び曲線部は、汚水が円滑に流れるように連絡管の管径及び管底に合わせて滑らかに仕上げなければならない。
- (16) マンホール内のコンクリート打設、インバート部の施工及び管接合部の施工等に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。
- (17) マンホールの天端高について、将来舗装の本復旧を考慮した場合、明らかに天端高を変更した方が良いと考えられるときは、監督員に必ず報告を行い、書面をもって協議すること。
- (18) 工事終了後、管内を洗管し、管内がきれいな状態で検査を受けること。供用開始前に管内の点検及び清掃を行い、補修が必要な場合は、速やかに対応すること。
- (19) 人孔の中心座標データ（人孔 No・X 座標・Y 座標・Z 座標）を世界測地系（日本測地系 2000 7 系）で取

得し、「xls・txt・csv ファイル」等にて作成し提出すること。

(20) 土留工の形状及び設置は、別途図書(標準図)を原則とするが開削部付近の環境、交通、地下埋設物等の条件によっては監督員の承認の上、変更することができる。

(21) 土留工の構造については、土質条件、荷重条件に基づく強度計算、施工方法等を検討の上、計算書、構造図を提出し、監督員の承認を得なければならない。

(22) 建て込み簡易土留工の採用に当たっては、十分に検討を行い、監督員に検討書及び承認願いを提出し承認を得なければならない。

6. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。

7. ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

8. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

9. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

10. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。

2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。

3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。

4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。

5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

11. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間)については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

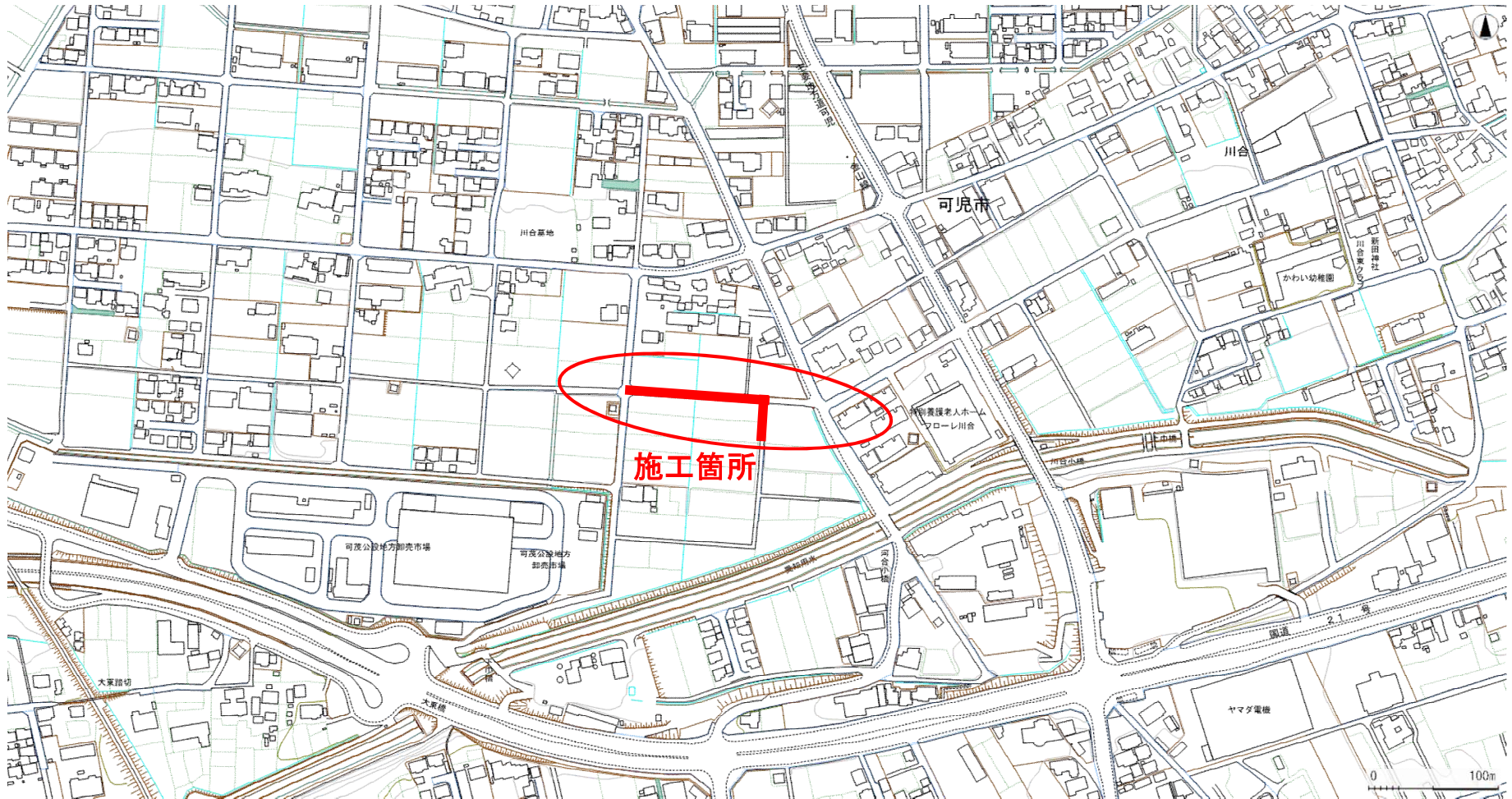
特記仕様書
(条件明示)

施工条件

工事名 平成30年度 川合字島帽子地内管渠布設工事		
下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。		
明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	☐ 1. 関連する別途発注工事あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 2. 他機関協議による工程条件あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 3. 他機関との協議状況	☐ A. 協議済機関及び内容 () ☐ B. 未協議機関及び内容 ()
	☐ 4. 占用許可状況 ()	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 5. 建築確認	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 7. 文化財協議（教育文化財課）	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 8. その他	☐ A. その他 ()
用 地	☐ 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A. 区間（NC ~ NO.） ☐ B. 着工見込時期 () ☐ C. 内容 ()
	☐ 2. 工事用地の未買収	☐ A. 場所 () ☐ B. 処理の見込み時期 () ☐ C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	☐ 3. 仮設ヤードの有無	☐ A. 官有地 ☐ B. 民有地 ☐ C. その他 () ☐ D. 別途協議
	☐ 4. その他	☐ A. その他 ()
	☐ 1. 施工方法の制限あり	☐ A. 騒音 () ☐ B. 振動 () ☐ C. 水質 () ☐ D. その他 ()
	☐ 2. 事業損失防止に関する調査あり	☐ A. 調査の項目 ()
	☐ 3. 環境影響調査あり	☐ A. 生物・植物調査あり ☐ A. アスベスト含有材あり ☐ B. フロン回収あり ☐ C. その他 ()
	☐ 4. その他	☐ A. 全面通行止め ☐ B. 片側通行止め ☐ C. 時間制限あり ()
安 全 対 策	☒ 1. 交通規制あり	☐ A. 迂回路あり ☐ B. 仮設歩道必要 ☒ A. 区間（全区間） 配置人員 2 人/日 ☐ B. 区間（ ） 配置人員 人/日 ☐ C. 区間（NC ~ ） 配置人員 人/日 ☒ D. 交替要員あり
	☐ 2. 通学路あり	☐ A. 工法制限あり () ☐ B. 作業時間制限あり ()
	☐ 3. 鉄道等の近接作業制限あり	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 4. バス路線（運行者との協議）	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 5. その他	☐ A. その他 ()
	☐ 1. 一般道路（搬入路）の使用制限	☐ A. 搬入経路指定あり ☐ B. 時間帯制限あり ☐ A. 一般交通供用あり ☐ B. 安全施設必要 () ☐ C. 路面工 () ☐ D. 工事完了後存続又は撤去 () ☐ E. 構造 () ☐ F. 用地（借地） ☐ G. 用地（公用地） ☐ H. 用地（その他）
	☐ 2. 仮設道路の設置条件あり	☐ A. その他 ()
	☐ 3. その他	☐ A. 工種 () ☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 () ☐ A. その他 ()
指 定 仮 設 備	☐ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A. 工種 ()
	☐ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 ()
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建 設 発 生 土 建 設 （ 産 業 ） 廃 棄 物 関	☒ 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり O	☒ A. 運搬距離（ 12.5 Km） ☐ B. 投棄料計上あり ☐ C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 ☒ D. 整地（押土）必要 ☒ A. 盛土、埋戻 ☐ B. ストックヤード利用あり () ☐ C. 仮置場必要 () ☐ D. 運搬距離（ Km） ☐ E. 仮置場の用地借上費計上あり
	☒ 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり 〔自工事へ流用〕	☐ A. 場所 () ☒ B. 盛土、埋戻 ☐ C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり ☐ D. ストックヤード利用あり () ☐ E. 仮置場必要 () ☐ F. 運搬距離（ Km） ☐ G. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ H. 処分料計上あり
	☒ 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり 〔他工事へ流用、または処分地指定〕	☐ A. 他工事名 () ☐ B. 請負者運搬あり（運搬距離） ☐ C. 盛土、埋め戻し ☐ D. ストックヤード利用あり () ☐ E. 仮置場必要 () ☐ F. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ A. 種類 () ☐ B. 場所 () ☐ C. 中間処理施設までの運搬距離（ Km） ☐ D. 処理費計上あり
	☐ 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり 〔他工事からの流用〕	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可見市環境課と打合せの必要あり ☒ A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） ☒ B. 建設発生土処理地の関係図書 ☐ C. コブリス
	☐ 5. 産業廃棄物の処理条件あり 〔特別管理産業廃棄物〕	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可見市環境課と打合せの必要あり ☒ A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） ☒ B. 建設発生土処理地の関係図書 ☐ C. コブリス
	☐ 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☒ 7. 「「可見市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 管理者による高さ調整（ ） ☐ B. 請負者による高さ調整（ ） ☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. その他（ ） ☐ A. 方法（ ） ☐ A. その他（ ） ☐ A. RC ☒ B. アスファルト再生合材（30％再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100％再生） ☐ D. 溶融スラグ使用あり（ ） ☐ E. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ A. その他（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
工 事 支 障 物 件	☐ 1. 占用支障物件あり（電気）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 2. 占用支障物件あり（電話）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
排 水 工 関 係	☐ 3. 占用支障物件あり（水道）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 4. 占用支障物件あり（下水道）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
再 生 材 使 用 及 び 溶 融 ス ラ グ	☐ 5. 占用支障物件あり（ガス）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 6. 占用支障物件あり（マンホ-蓋、仕切り弁蓋等）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
そ の 他	☐ 7. 占用支障物件あり（その他）	☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. その他（ ） ☐ A. 方法（ ） ☐ A. その他（ ） ☐ A. RC ☒ B. アスファルト再生合材（30％再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100％再生） ☐ D. 溶融スラグ使用あり（ ） ☐ E. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ A. その他（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
	☐ 8. その他	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. 管理者による高さ調整（ ） ☐ B. 請負者による高さ調整（ ） ☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議） ☐ A. その他（ ） ☐ A. 方法（ ） ☐ A. その他（ ） ☐ A. RC ☒ B. アスファルト再生合材（30％再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100％再生） ☐ D. 溶融スラグ使用あり（ ） ☐ E. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ A. その他（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
そ の 他	☐ 1. 現場発生材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
	☐ 2. 支給材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
そ の 他	☐ 3. イメージアップあり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）
	☐ 4. その他	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 処分場所（ ） ☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ） ☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ） ☐ A. その他（ ）

位置図



本工事費内訳書

平成30年度 川合字烏帽子地内管渠布設工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
本工事費	式	1			費目行	
管渠工	式	1			工種行	
管路土工	式	1			1号明細書 4頁	
管布設工	式	1			2号明細書 5頁	
管路舗装工	式	1			3号明細書 6頁	
組立マンホール設置工	式	1			工種行	
1号組立マンホール設置工	式	1			4号明細書 7頁	
楕円組立マンホール設置工	式	1			5号明細書 8頁	
仮設工	式	1			工種行	
土留工	式	1			6号明細書 9頁	
交通誘導警備員	式	1			7号明細書 10頁	
直接工事費	式	1				
共通仮設費	式	1				
共通仮設費	式	1				

本工事費内訳書

平成30年度 川合字烏帽子地内管渠布設工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運搬費	式	1			1号内訳書 3頁	
共通仮設費(率計上)	式	1				
純工事費	式	1				
現場管理費	式	1				
工事原価	式	1				
一般管理費等	式	1				
工事価格	式	1				
消費税相当額	式	1				
設計価格	式	1				

運搬費

内訳書

1号内訳書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼材の運送 10km A:L12m未満 往復	t	5.760			19号代価表 33頁	
計						

明細書

1号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
機械掘削(ハックホ掘削) クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	370			1号代価表 11頁	
機械投入埋戻工(ハックホ) 機械投入+締固め 単粒度碎石	m3	45			2号代価表 12頁	
機械投入埋戻工(ハックホ) 機械投入+締固め 流用土	m3	240			3号代価表 14頁	
機械投入埋戻工(ハックホ) 機械投入+締固め 再生碎石RC - 40	m3	64			4号代価表 15頁	
発生土運搬工 ダンプトラック10t+ハックホ0.45m3 片道12.5km以下 土砂 DID無 良好	m3	110			5号代価表 17頁	
計						

管布設工

明細書

2号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工[材工共] φ 200 20m以上	m	147.300				
砕石基礎工 機械施工 10m3以上	m2	110			6号代価表 18頁	
下水管理設表示シート シングル W=150mm	m	147.300				
下水管理設表示テープ 管上貼付 W=50mm	m	147.300				
計						

明細書

3号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 As:15cm以下	m	300			7号代価表 19頁	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り	m ²	128			8号代価表 20頁	
AS殻運搬処分 BH0.45 DT10t	m ³	5			9号代価表 21頁	
下層路盤 140mm 1層施工 再生クランシャランRC-40	m ²	128			10号代価表 22頁	
表層(車道・路肩部) 1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度アスコン(13) プライムコートFK-3	m ²	128			11号代価表 24頁	
計						

明細書

4号明細書

1号組立マンホール設置工

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
人孔鉄蓋 可児市型 管理番号含 T-14 φ 600	組	1				
アンカーボルト・調整駒 M16-150 調整高0~45	組	1				
調整リング 径600*高150	個	1				
斜壁 上径600*下径900*高450	個	1				
直壁 内径900*高600	個	1				
管取付壁 内径900*高1500	個	1				
底版 有効高130	個	1				
底部工(組立式) 1号 インバート付底塊使用しない RC-40	箇所	2			12号代価表 26頁	
人孔削孔代 φ 200 塩ビ用	箇所	1				
リブ用マンホール可とう継手 φ 200	個	2				
1号マンホール設置工[手間のみ] マンホール深 H≦3.0m 4箇所未満	箇所	1				
無収縮モルタル 25kg入	袋	1				
計						

明細書

5号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
人孔鉄蓋 可児市型 管理番号含 T-14 φ 600	組	2				
アンカーボルト・調整駒 M16-150 調整高0~45	組	2				
調整リング 径600*高100	個	4				
斜壁 上径600*下幅(600*900)*高600	個	2				
直壁 下幅(600*900)*高300	個	1				
直壁 下幅(600*900)*高600	個	2				
管取付壁(底版付) 下幅(600*900)*高1270	個	2				
底部工(組立式) 楕円 インバート付底塊使用しない RC-40	箇所	2			13号代価表 27頁	
人孔削孔代 φ 200 塩ビ用	箇所	2				
リブ用マンホール可とう継手 φ 200	個	4				
楕円組立マンホール設置工[手間のみ] マンホール深 H≦3.0m 4箇所未満	箇所	2				
無収縮モルタル 25kg入	袋	2				
計						

明細書

6号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
アルミ矢板建込工 掘削深3.0m以下 山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン機能付2.9t吊	m	96			14号代価表 28頁	
アルミ矢板引抜工 掘削深3.0m以下 山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン機能付2.9t吊	m	96			15号代価表 29頁	
アルミ矢板建込工 掘削深3.5m以下 山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン機能付2.9t吊	m	54			16号代価表 30頁	
アルミ矢板引抜工 掘削深3.5m以下 山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン機能付2.9t吊	m	54			17号代価表 31頁	
支保工(軽量金属)設置・撤去 2段 ねじ式パイプサポート	m	150			18号代価表 32頁	
アルミ矢板土留材質料	式	1				
腹起材質料	式	1				
切梁材質料	式	1				
計						

交通誘導警備員

明細書

7号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
交通誘導警備員A	人					
交通誘導警備員B	人					
交通誘導警備員A 交替要員	人					
計						

代価表

機械掘削(バックホウ掘削)
クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)

1号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間				1号単価表 41頁	
計						
1 m3 当り						
機械掘削工(バックホウ)：クローラ型山積 0.45m3(平積0.35m3)；機械掘削工(バックホウ)(100m3当り)：世話役(人), 普通作業員(人), 運転時間(h), 日当り施工量(m3/日)						
(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
バックホウ：バックホウ(排対1次)；クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)						

機械投入埋戻工(バックホ)
機械投入+締固め 単粒度砕石

代価表

2号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
単粒度砕石 20~2.5mm	m3	126				
バックホ(排対1次) クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間				1号単価表 41頁	
タンパ 締固め	m3	100			20号代価表 34頁	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上する 埋戻土の選択：単粒度砕石； 20～2.5mm						
埋戻土の単位選択：「m3」単位 of 材料単価 土量変化率(岩なし)：礫質土:礫； 変化率L, 変化率C						
施工区分：機械投入+締固め； 世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ 締固め(m3/100m3), タンパ 日当り施工量(m3/日)						
子代価の積算方式決定：施工パッケージ型積算						
タンパ 締固め：タンパ 締固め； バックホ規格選択：クローラ型山積 0.45m3(平積0.35m3)； 100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日)						
(バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値) 岩石補正：補正なし						

機械投入埋戻工(バックホ)
機械投入+締固め 単粒度碎石

代価表

2号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホ : バックホ(排対1次) ; クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)						

機械投入埋戻工(バックホ)
機械投入+締固め 流用土

代価表

3号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホ(排対1次) クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間				1号単価表 41頁	
タンパ 締固め	m3	100			20号代価表 34頁	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上しない 施工区分：機械投入+締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ 締固め(m3/100m3), タンパ 日当り施工量(m3/日)						
子代価の積算方式決定：施工パッケージ型積算 タンパ 締固め：タンパ 締固め；						
バックホ規格選択：クロー型山積 0.45m3(平積0.35m3)；100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日) (バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
岩石補正：補正なし バックホ：バックホ(排対1次)；クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)						

機械投入埋戻工(バックホ)
機械投入+締固め 再生砕石RC - 40

代価表

4号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
再生砕石 RC-40	m3	126				
バックホ(排対1次) クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間				1号単価表 41頁	
タンパ 締固め	m3	100			20号代価表 34頁	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上する 埋戻土の選択：再生砕石；RC-40						
埋戻土の単位選択：「m3」単位 of 材料単価 土量変化率(岩なし)：礫質土:礫；変化率L, 変化率C						
施工区分：機械投入+締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ 締固め(m3/100m3), タンパ 日当り施工量(m3/日)						
子代価の積算方式決定：施工パッケージ型積算						
タンパ 締固め：タンパ 締固め； バックホ規格選択：クロー型山積 0.45m3(平積0.35m3)；100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日)						
(バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
岩石補正：補正なし						

機械投入埋戻工(バックホ)
機械投入+締固め 再生砕石RC - 40

代価表

4号代価表

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホ : バックホ(排対1次) ; クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)						

代価表

5号代価表

100 m3当り

発生土運搬工 ダンプトラック10t+バックホウ0.45m3
片道12.5km以下 土砂 DID無 良好

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 良好 オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	日				2号単価表 42頁	
計						
1 m3 当り						
代価表の選択： 施工土量100m3当り代価表 積込機械の選択： バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 山積0.45m3(平積0.35m3) 又はバックホウ クローラ型 山積0.45m3(平積0.35m3)						
運搬距離の適用方法： 片道運搬距離区分(〇〇km以下)を選択 DID区間の有無： 無し						
運搬日数10t(BH山積0.45m3・DID無)区分選択： 12.5km以下； バックホウ0.45m3・DID無：運搬日数(日) 土質区分： :土砂； 歩掛数値補正係数,ダンプトラック損料割増						
ダンプトラック損料補正(なし)： 損料補正なし 路面の状態： 良好						
ダンプトラック： ダンプトラック 良好； オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級 廃棄物処理料金の計上： 計上しない						

砕石基礎工
機械施工 10m3以上

代価表

6号代価表

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
単粒度砕石 20~2.5mm	m3	12				
砕石基礎工[手間のみ] 機械施工 10m3以上	m3	10				
計						
1 m2 当り						

代価表

舗装版切断
アスファルト舗装版 As:15cm以下

7号代価表

1 m当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	コンクリートカッタ バキューム式・湿式・切削深20cm級・プレート径56cm					
R						
R1	特殊作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	普通作業員					
Z						
Z1	コンクリートカッタプレート 径56cm(55cm)					
Z2	レギュラーガソリン スタント					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無						
舗装版種別：アスファルト舗装版						
アスファルト舗装版厚：15cm以下						
コンクリートカッタ(プレート)径22インチ：コンクリートカッタプレート；径56cm(55cm)						
ガソリンレギュラー：レギュラーガソリン；スタント						

代価表

舗装版破碎
アスファルト舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り

8号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	バックホ(賃貸)クロー(法面バケット付) 山積み0.45m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)： 無					
舗装版種別	： アスファルト舗装版					
障害等の有無	： 無し					
騒音振動対策	： 不要					
舗装版厚	： 10cm以下					
(バックホ)賃料長期割引の適用	： 長期割引あり					
軽油	： 軽油； 小型ローリー パトロール給油					

AS殻運搬処分
BH0.45 DT10t

代価表

9号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) DID無し 22.0km以下	m3	1			21号代価表 35頁	
中間処理場委託料金 アスファルト 塊	t	2.350				
計						
1 m3 当り						

下層路盤
140mm 1層施工 再生クラッシュランRC-40

代価表

10号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	小型バックホウ(賃貸)クローラ 山積み0.11m3					
K2	振動ローラ(賃貸) 搭乗式 コンバインド型 3~4t					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
R3	特殊作業員					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ローラー パトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)： 無					
全仕上	り厚(mm)： TH58a=140mm					
材料：	再生クラッシュランRC-40					
再生クラッシュランRC-40	： 再生砕石； RC-40					

下層路盤
140mm 1層施工 再生クラッシュRC-40

代価表

10号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
	(小型バックホウ)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
	(振動ローリ)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
	軽油：軽油； 小型ローリー パトロール給油					

代価表

表層(車道・路肩部)
1. 4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度アスコン(13) プライムコートPK-3

11号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	振動ローラ(舗装用) ハットガイト式・質量0.5~0.6t					
K2	振動コンパクタ 前進型・質量40~60kg					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					36頁	
Z1	アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)				22号代価表 36頁	
Z2	アスファルト乳剤 PK3 プライムコート用					
Z3	レギュラーガソリン スタント					
Z4	軽油 小型ローリー バトル給油					

代価表

表層(車道・路肩部)
1. 4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度アスコン(13) プライムコートPK-3

11号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
平均幅員	： 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)					
1層当り	平均仕上り厚(標準50mm)： TH37a=40mm					
材料	： 再生密粒度アスコン(13)					
瀝青材料種類	： プライムコート PK-3					
アスファルト混合物	： アスファルト混合物； 再生密粒度アスコン(13)					
アスファルト乳剤 PK-3	プライムコート用：アスファルト乳剤； PK3 プライムコート用					
アスファルト乳剤の単位選択	： 「L」単位の材料単価					
ガソリン	レギュラー：レギュラーガソリン； スタンド					
軽油	： 軽油； 小型ローリー パトロール給油					

代価表

12号代価表

1 箇所当り

底部工(組立式) 1号
インバート付底塊使用しない RC-40

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
再生砕石 RC-40	m3	0.230				
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し	m3	0.160			23号代価表 37頁	
モルタル上塗り(マンホール用) 厚2cm 高炉1:2バラスト物荷渡し場所及び取	m2	0.740			24号代価表 38頁	
計						
1 箇所 当り						
子代価の積算方式決定：施工パッケージ型積算 インバート付底塊の使用：使用しない						
砕石の計上：計上する 砕石(材料費、材料費+施工手間)計上区分：「砕石材料費」を計上(施工手間は、市場単価「組立マンホール設置工」に含む)						
砕石材料費：再生砕石；RC-40 砕石数量：S1a=0.95m2, S1b=0.2m, K=0.2, S1=0.23m3/箇所						
構造物種別：無筋・鉄筋構造物 コンクリート工：コンクリート；無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し						
1箇所当りコンクリート工数量：S2=0.16m3 モルタル上塗り厚(1~3cm:標準2cm)：W=2cm						
モルタル上塗り：モルタル上塗り(マンホール用)；厚2cm 高炉1:2バラスト物荷渡し場所及び取 1箇所当りモルタル上塗り数量：S3=0.74m2						

代価表

13号代価表

1 箇所当り

底部工(組立式) 楕円
インバート付底塊使用しない RC-40

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
再生砕石 RC-40	m3	0.190				
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し	m3	0.130			23号代価表 37頁	
モルタル上塗り(マンホール用) 厚2cm 高炉1:2バラスト物荷渡し場所及び取	m2	0.600			24号代価表 38頁	
計						
1 箇所 当り						
子代価の積算方式決定：施工パッケージ型積算 インバート付底塊の使用：使用しない						
砕石の計上：計上する 砕石(材料費、材料費+施工手間)計上区分：「砕石材料費」を計上(施工手間は、市場単価「組立マンホール設置工」に含む)						
砕石材料費：再生砕石； RC-40 砕石数量：S1a=0.81m2, S1b=0.2m, K=0.2, S1=0.19m3/箇所						
構造物種別：無筋・鉄筋構造物 コンクリート工：コンクリート； 無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し						
1箇所当りコンクリート工数量：S2=0.13m3 モルタル上塗り厚(1~3cm:標準2cm)：W=2cm						
モルタル上塗り：モルタル上塗り(マンホール用)； 厚2cm 高炉1:2バラスト物荷渡し場所及び取 1箇所当りモルタル上塗り数量：S3=0.6m2						

代価表

14号代価表

100 m 当り

アルミ矢板建込工 掘削深3.0m以下
山積0.45m³(平積0.35m³)クレーン機能付2.9t吊

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホ(排対1次) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊	時間				3号単価表 43頁	
計						
1 m 当り						
建込み施工歩掛 : 3.0m以下 ; アルミ矢板建込み(100m当り):世話役(人), 特殊作業員(人), 普通作業員(人)						
建込み機械の選択 : バックホ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t山積0.45m ³ (平積0.35m ³)						
(バックホ)排ガス機械の選択 : 排ガス対策型(第1次基準値)						
クレーン付きバックホ運転費 : バックホ(排対1次) ; クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊						

代価表

15号代価表

100 m 当り

アルミ矢板引抜き工 掘削深3.0m以下
山積0.45m³(平積0.35m³)クレーン機能付2.9t吊

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊	時間				3号単価表 43頁	
計						
1 m 当り						
引抜き施工歩掛：3.0m以下；アルミ矢板引抜き(100m当り)：世話役(人), 特殊作業員(人), 普通作業員(人)						
引抜き機械の選択：バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t山積0.45m ³ (平積0.35m ³)						
(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
クレーン付きバックホウ運転費：バックホウ(排対1次)；クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊						

代価表

16号代価表

100 m 当り

アルミ矢板建込工 掘削深3.5m以下
山積0.45m³(平積0.35m³)クレーン機能付2.9t吊

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊	時間				3号単価表 43頁	
計						
1 m 当り						
建込み施工歩掛：3.5m以下；アルミ矢板建込み(100m当り)：世話役(人)、特殊作業員(人)、普通作業員(人)						
建込み機械の選択：バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t山積0.45m ³ (平積0.35m ³)						
(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
クレーン付きバックホウ運転費：バックホウ(排対1次)；クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊						

代価表

17号代価表

100 m 当り

アルミ矢板引抜き工 掘削深3.5m以下
山積0.45m³(平積0.35m³)クレーン機能付2.9t吊

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊	時間				3号単価表 43頁	
計						
1 m 当り						
引抜き施工歩掛：3.5m以下；アルミ矢板引抜き(100m当り)：世話役(人), 特殊作業員(人), 普通作業員(人)						
引抜き機械の選択：バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t山積0.45m ³ (平積0.35m ³)						
(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
クレーン付きバックホウ運転費：バックホウ(排対1次)；クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)クレーン2.9t吊						

支保工(軽量金属)設置・撤去
2段 ねじ式パイプサポート

代価表

18号代価表

100 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
設置・撤去の選択 : 設置・撤去 段数選択 : 2段						
切梁材の選択 : ねじ式パイプサポート 支保材計上区分 : 支保材料費を計上しない(施工費のみ)						

代価表

鋼材の運送
10km

A:L12m未満
往復

19号代価表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼材距離制運賃 L12m未満 10km迄	t	2				I -2-②-13
積込費取卸し費 積込費+取卸し費 基地現地間往復	t	1				I -2-②-14
計						
1 t 当り						
代価表の単位 : 1 t 当り 往復区分 : 往復分						
運搬距離(片道) : L=10 km 貨物の種類 : A1個の長さが13m未満でかつ幅2,500mm未満および重量15トン未満のもの						
A運搬距離選択～200 : 10kmまで 数量算出(20km) : S14=0 ; ; 0以下						
数量算出(50km) : S24=0 ; ; 0以下 運搬距離選択 : 200km以下						
積込み・取卸し費用 : 計上する 往復区分 : 往復分						
冬期割増 : C3=0 ; 割増率(%) ; 冬期割増:割増無し 深夜・早朝割増 : C4=0 ; 割増率(%) ; 深夜・早朝割増:割増無し						

ﾀﾝﾊﾟ 締固め

代価表

20号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ﾀﾝﾊﾟ (賃貸) 質量60~80kg					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	レギュラーガソリン スタント					
	(ﾀﾝﾊﾟ)賃料長期割引の適用：長期割引あり ガソリン：レギュラーガソリン；スタント					

殻運搬
 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID無し 22.0km以下

代価表

21号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
殻発生作業、積込工法区分：舗装版破碎；積込工法区分						
DID区間の有無：無し						
運搬距離：22.0km以下						
軽油：軽油；小型ローリー パトロール給油						

アスファルト混合物
再生密粒度アスコン(13)

代価表

22号代価表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
アスファルト再生合材 密粒度アスコン(13)	t	1				
計						
1 t 当り						
再生密粒度アスコン(13) : アスファルト再生合材 ; 密粒度アスコン(13)						
アスファルト混合物の単位選択 : 「t」単位の材料単価						
アスファルト混合物小型車割増額の計上 : 計上しない						
アスファルト混合物夜間割増額の計上 : 計上しない						

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20) (高炉) 一般養生 現場内小運搬無し

代価表

23号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					39頁	
Z1	生コンクリート 18-8-25(20) (高炉)				25号代価表 39頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 コンクリート規格：18-8-25(高炉)					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート； 18-8-25(20) (高炉)					

代価表

24号代価表

1 m2当り

モルタル上塗り工(マンホール用)
厚2cm 高炉 1:2 ばら物荷渡し場所及び取

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
モルタル練 高炉 1:2 ばら物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による	m3	0.020			26号代価表 40頁	
左官	人					
普通作業員	人					
計						
1 m2 当り						
上塗りモルタル厚(1~3cm) : W=2cm 子代価の積算方式決定 : 施工パッケージ型積算						
モルタル練工 : モルタル練 ; 高炉 1:2 ばら物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による						

生コンクリート
18-8-25(20)(高炉)

代価表

25号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉)：(高炉)生コンクリート； 18-8-25, 18-8-40 B種						
生コンクリートの夜間割増の有無：無						
生コンクリート小型車割増額の計上：計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上：計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし)：計上しない						

モルタル練
高炉 1:2 バラ物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による

代価表

26号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					
Z						
Z1	高炉セメント(B) バラ物					
Z2	コンクリート用砂 コンクリート用砂					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
セメント種類	： 高炉					
セメント(高炉)	： 高炉セメント(B)； バラ物 荷渡し場所及び取引数量は物価資料による					
セメント材料の単位選択	： 「t」単位のセメント材料					
砂	： コンクリート用砂； コンクリート用砂					
砂材料の単位	： 「m3」単位の砂材料単価					

単価表

1号単価表

1 時間 当り

バックホ(排対1次)
クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ローリー パトロール給油	L					
バックホ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間					
計						
1 時 間 当 り						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上) 軽油：軽油；小型ローリー パトロール給油						

ダンプトラック 良好
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

単価表

2号単価表

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)	人					
軽油 小型ローリー パトロール給油	L					
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	供用日					
タイヤ損耗費及び補修費(供用1日当り) ダンプトラック10t・良好	供用日					
計						
1 日 当 り						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用： 軽油：軽油； 小型ローリー パトロール給油						

単価表

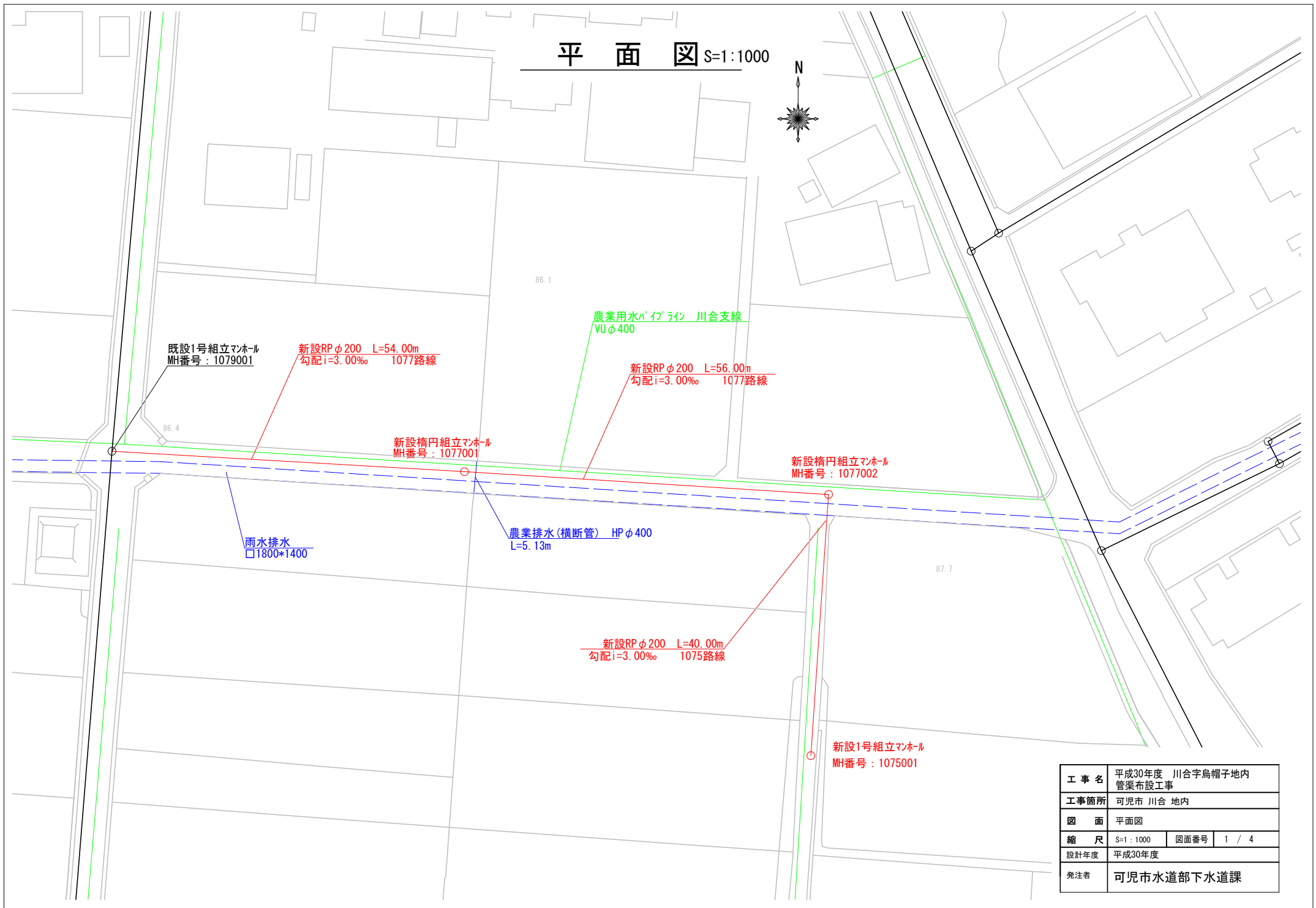
バックホ(排対1次)
クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン2.9t吊

3号単価表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ローリー パトロール給油	L					
バックホ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)クレーン2.9t吊	時間					
計						
1 時間 当り						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用； 11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上) 軽油：軽油； 小型ローリー パトロール給油						

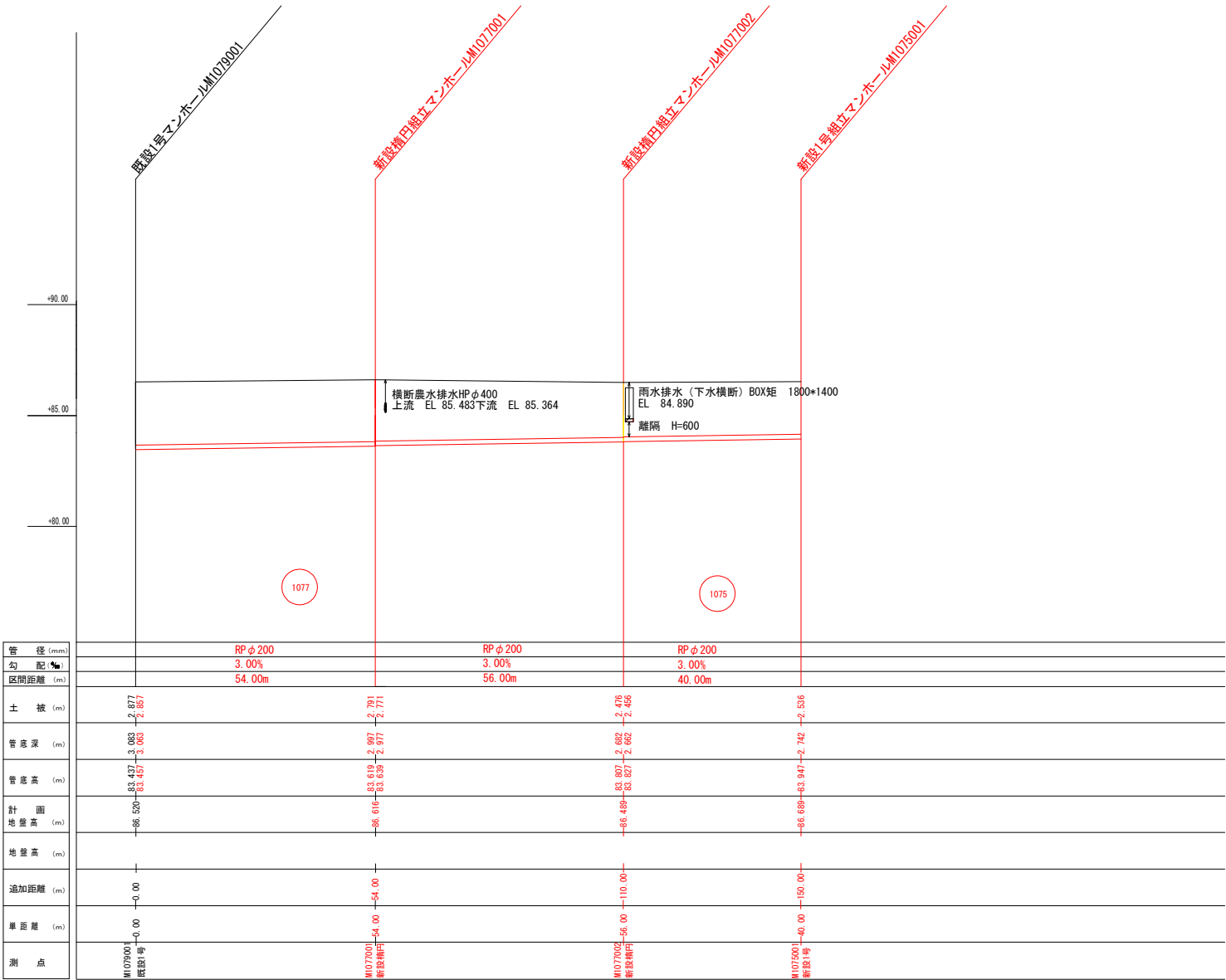
平面図 S=1:1000



工 事 名	平成30年度 川合字烏帽子地内 管渠布設工事		
工事箇所	可児市 川合 地内		
図 面	平面図		
縮 尺	S=1:1000	図面番号	1 / 4
設計年度	平成30年度		
発注者	可児市水道部下水道課		

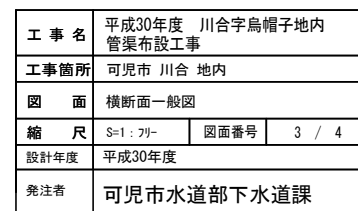
縦断図

縦 S=1/200
横 S=1/1,000



工 事 名	平成30年度 川合字島帽子地内 管渠布設工事		
工事箇所	可児市 川合 地内		
図 面	縦断面		
縮 尺	縦 S=1/200 横 S=1/1000	図面番号	2 / 4
設計年度	平成30年度		
発注者	可児市水道部下水道課		

S=1:7リ-



土工定規図及び舗装復旧工標準図

土工定規図

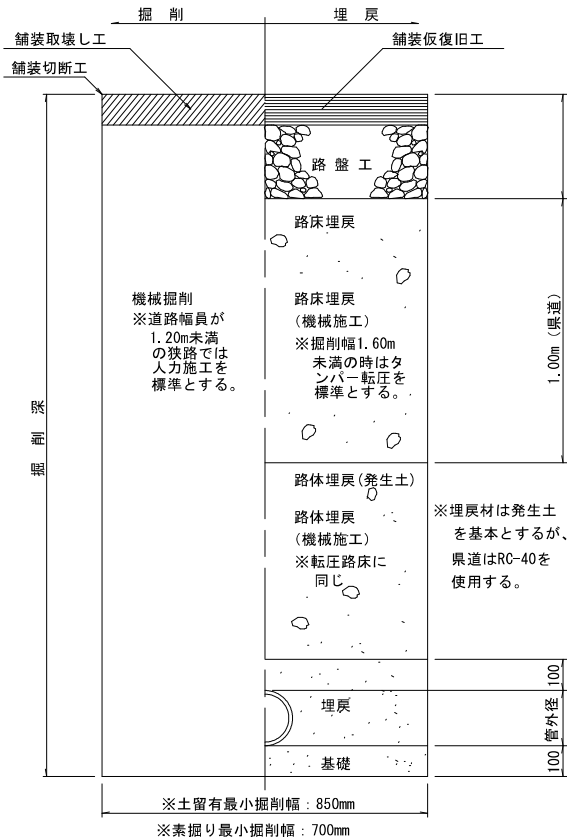
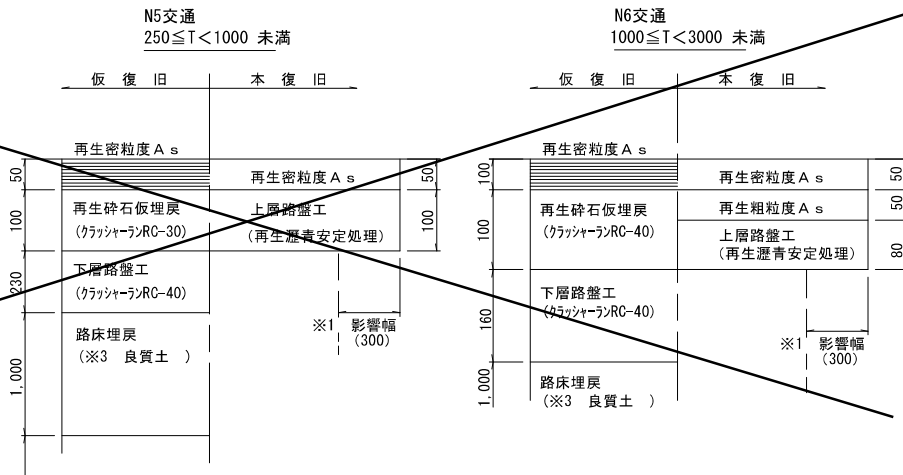
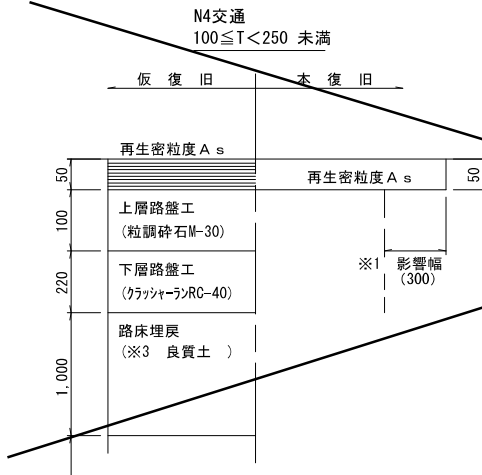
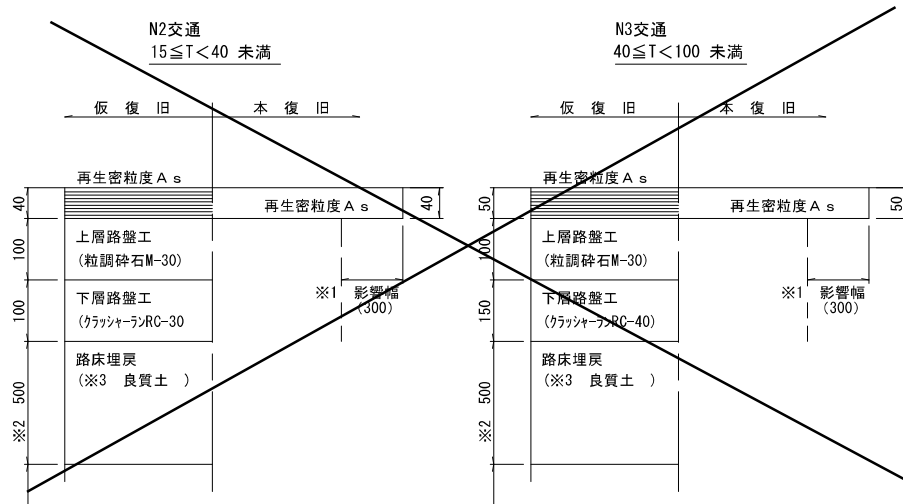
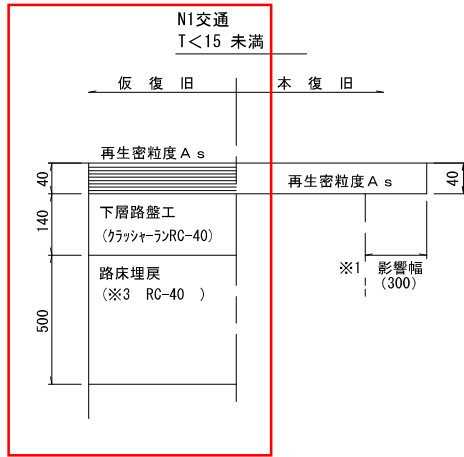


圖 準 標 旧 復 裝 舖



※1 影響幅：占用条件による。

※2 路床埋戻：県道は100cm、市道は50cmとする。

※3 購入土を標準とするが、発生土の設計CBRが3以上の場合は、発生土の流用を検討する。

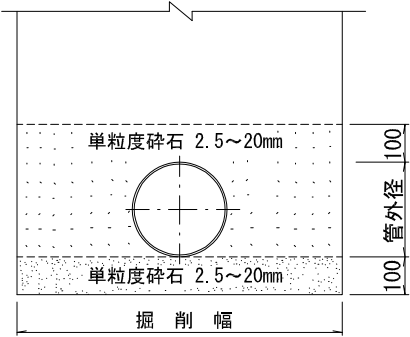
図面の種類	土工定規図・舗装復旧標準図		
縮 尺	5=フリー	図面番号	4 / 4
事務所名	可児市 水道部 下水道課		

可 児 市 下 水 道 施 設 標 準 構 造 図

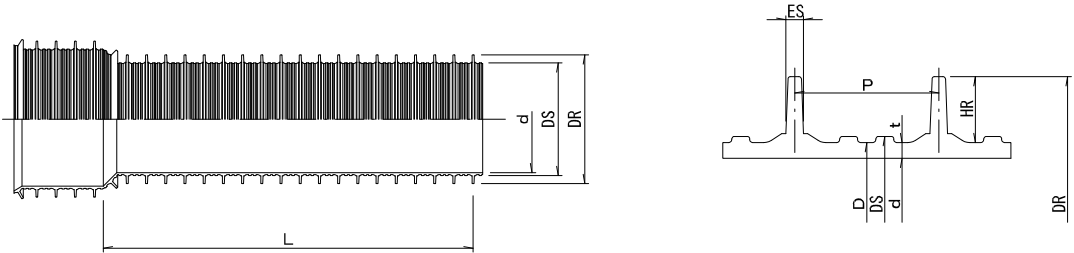
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課

基礎工

S=1:20

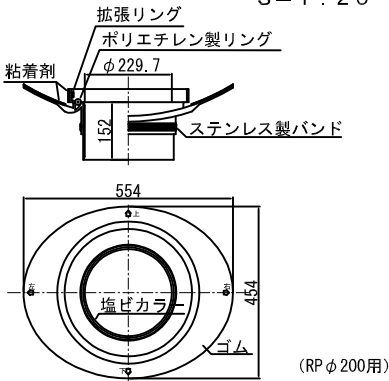


片受直管

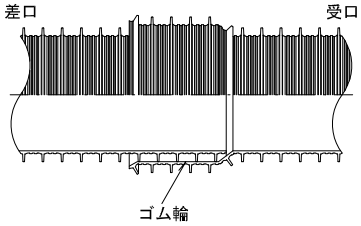
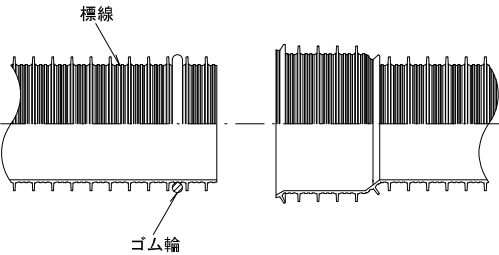


マンホール継手参考図

S=1:20



ゴム輪接合



寸法表

(単位mm)

呼び径	シール部外径 DS	厚さ t	外径 D (参考)	リブ外径 DR (参考)	リブ高さ HR (参考)	リブ間隔 P	リブ幅 ES (参考)	近似内径 d (参考)	1m当り質量 (kg) (参考)	L
150	157.5±0.6	2.4 ^{+0.8} ₋₀	155.5	171.0	7.7	19.1±0.6	3.1	150	3.000	4000 ⁺³⁰ ₋₁₀
200	207.7±0.7	2.4 ^{+0.8} ₋₀	205.5	228.8	11.6	25.4±0.8	3.6	200	4.350	
250	258.5±0.9	2.7 ^{+0.8} ₋₀	256.1	286.2	15.0	30.5±0.9	4.4	250	6.380	
300	309.7±1.0	3.0 ^{+1.2} ₋₀	307.1	343.6	18.2	38.1±1.1	5.4	300	9.020	4000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀
350	360.2±1.1	3.1 ^{+1.2} ₋₀	357.4	400.6	21.6	38.1±1.1	5.9	350	12.030	
400	412.0±1.3	3.8 ^{+1.4} ₋₀	409.0	458.4	24.7	50.8±1.5	7.2	400	15.760	
450	462.5±1.4	4.0 ^{+1.4} ₋₀	459.3	514.6	27.6	50.8±1.5	7.8	450	19.750	4000 ⁺⁵⁰ ₋₁₀
500	512.9±1.6	4.1 ^{+1.4} ₋₀	509.5	571.2	30.8	50.8±1.5	8.7	500	24.440	

図名	リブ付硬質塩化ビニル管標準図				
分類	1-7	縮尺	—	図番	7
可児市水道部下水道課					

ゴム輪取付位置 (ゴム輪差口)

管端より第2番目と第3番目のリブの間とする。

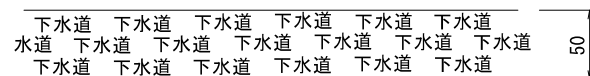
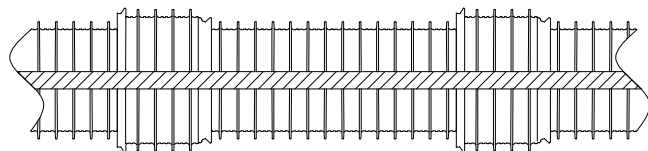
標線をマジックインキなどで記入する。

標線位置

呼び径φ150は、管端より第6番目と第7番目のリブの間とする。

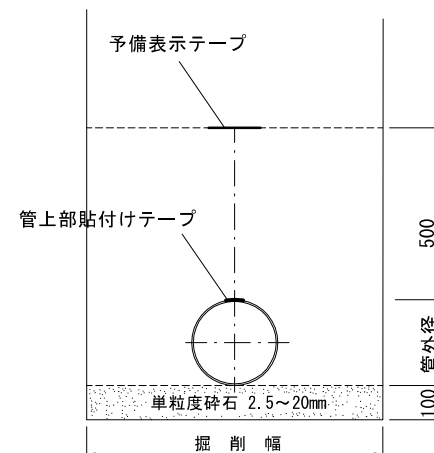
呼び径φ200以上は、管端より第5番目と第6番目のリブの間とする。

管上部貼付け

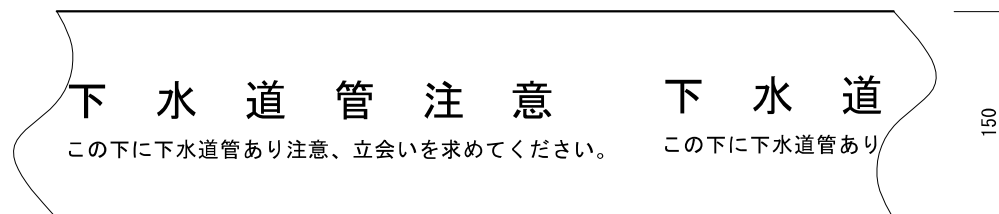


※茶色、黒文字：管上部に貼付け

断面図



予備表示テープ

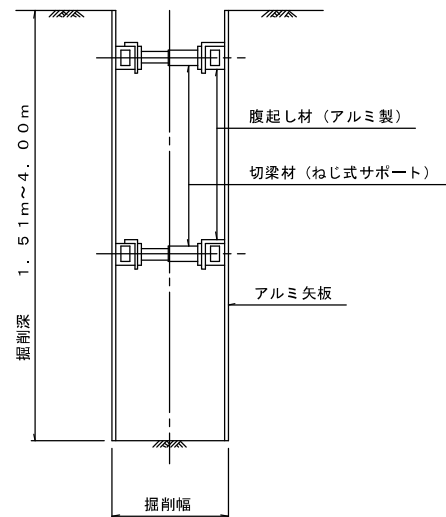


※茶色、白文字：管上50cmに敷設、

図名	埋設表示テープ標準図				
分類	1-8	縮尺	—	図番	
可児市水道部下水道課					

アルミ矢板土留工参考図

断面図

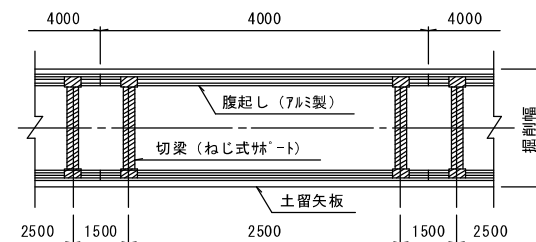


アルミ矢板建込み支保工設置区分

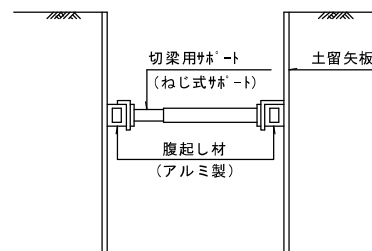
掘削深	支保工段数	腹起し材	切梁材
2.00m以下	1 段 支 保	アルミ製 t=7cm	ねじ式サポート
2.01m以上 3.50m以下	2 段 支 保	アルミ製 t=11cm (アルミ製 t= 7cm)	"
3.51m以上 4.00m以下	3 段 支 保	" "	"

軽量金属支保工参考図

平面図



断面図



軽量金属支保工材料表(100m, 1段当り)

腹起し長さ 4m	腹 起 し 材	5 0 . 0 本
	切 梁 材	5 0 . 0 本

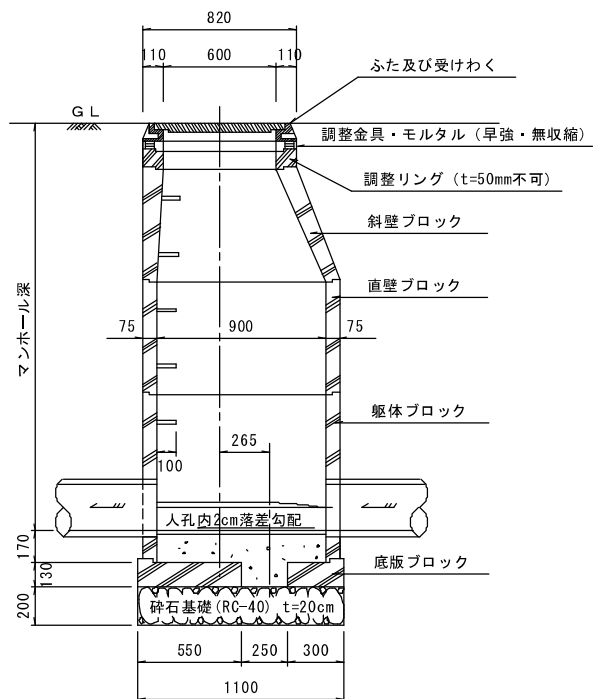
※寸法等は参考とする。

※土質条件が不安定な時は構造計算書を添付するものとする。

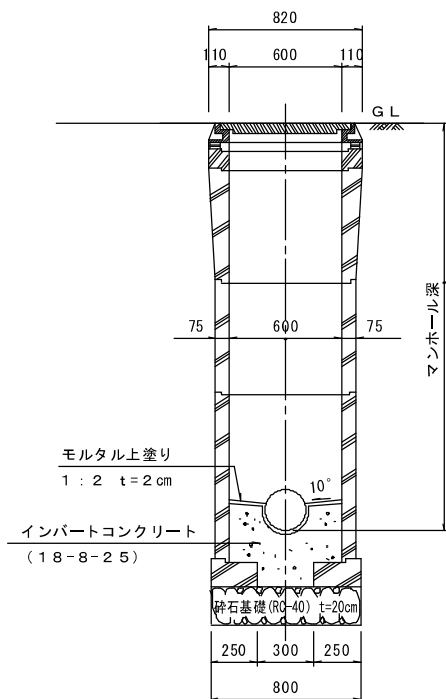
図名	アルミ矢板土留・軽量金属支保工参考図			
分類		縮尺	—	図番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

楕円組立マンホール標準図

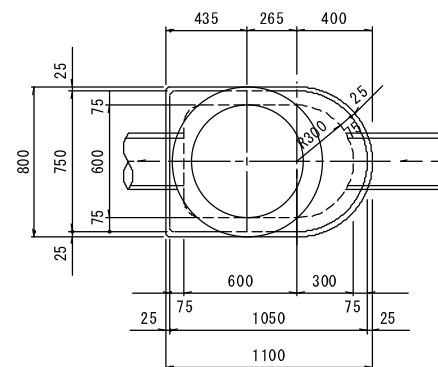
縦断面図



横断面図



平面図



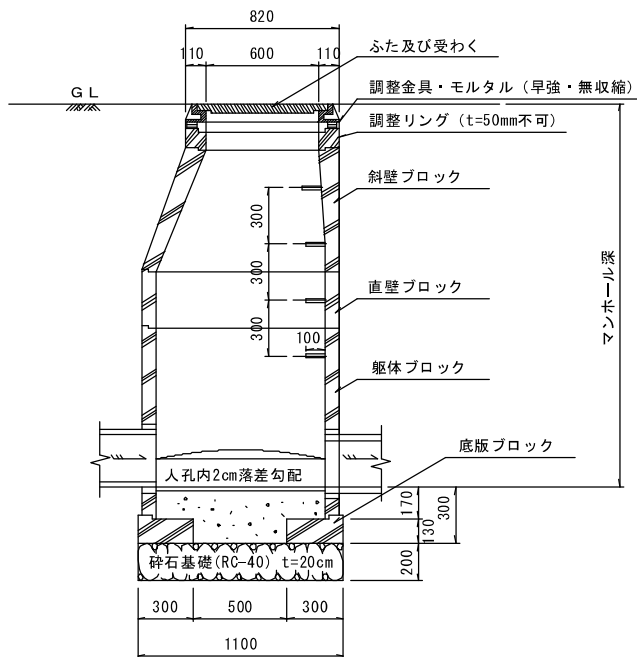
底部工材料表 (内径φ200mm)

種 別	形状・寸法	計 算 式	単位	1ヶ所当り 数 量
砕石基礎	RC-40	$\pi/4 \times 0.800^2 \times 1/2 + 0.800 \times 0.700$	m ²	0.81
コンクリート	18-8-25	$(\pi/4 \times 0.600^2 \times 1/2 + 0.600 \times 0.600) \times (0.200/2 + 0.170 + 0.020/2) - \pi/4 \times 0.200^2 \times 1/2 \times 0.900$	m ³	0.13
モルタル上塗り	1:2 t=2cm	$\pi/4 \times 0.600^2 \times 1/2 + 0.600 \times 0.600 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 - 0.200 \times 0.900$	m ²	0.60

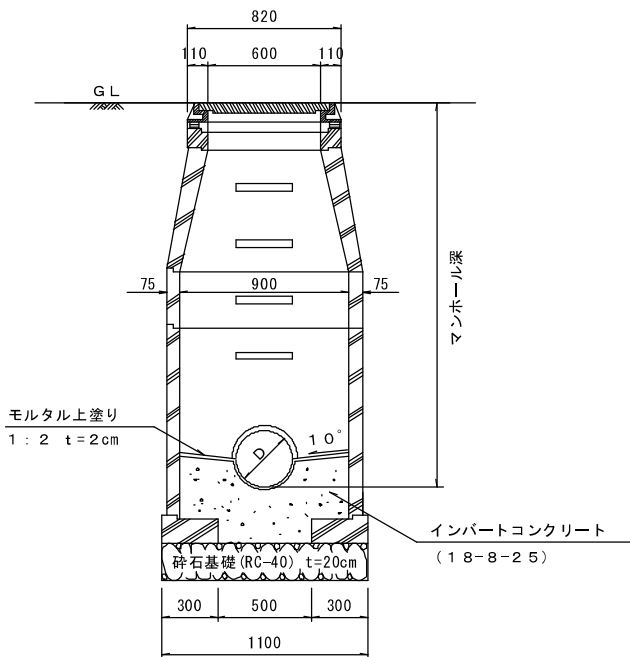
図 名	楕円組立マンホール標準図			
分類	4-1	縮 尺	—	図 番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

組立 1 号マンホール標準図

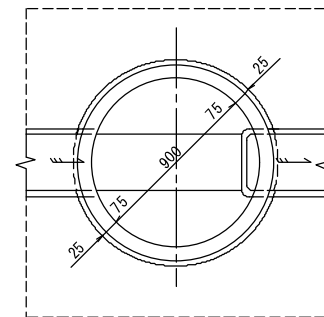
縦断面図



横断面図



平面図



底部工材料表 (内径φ200mm)

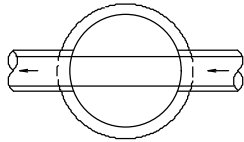
種 別	形状・寸法	計 算 式	単位	1ヶ所当り 数 量
碎石基礎	R C - 4 0	$\pi/4 \times 1.100^2$	m ²	0.95
コンクリート	1 8 - 8 - 2 5	$\pi/4 \times 0.900^2 \times (0.200/2 + 0.170 + 0.020/2) - \pi/4 \times 0.200^2 \times 1/2 \times 0.900$	m ³	0.16
モルタル上塗り	1 : 2 t=2cm	$\pi/4 \times 0.900^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 - 0.200 \times 0.900$	m ²	0.74

図 名	組立 1 号マンホール標準図			
分類	4 - 3	縮 尺	—	図 番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

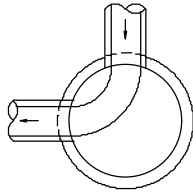
インバート標準平面図

- ※ インバート形状は各号人孔共通とする。
- ※ 上記以外の場合は各組合せにより形状を決定するものとする。

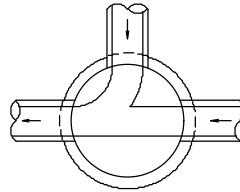
タイプA



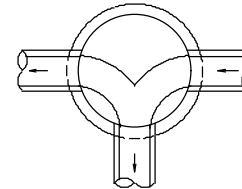
タイプB



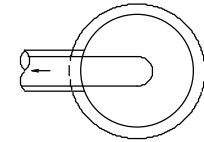
タイプC



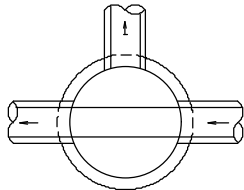
タイプD



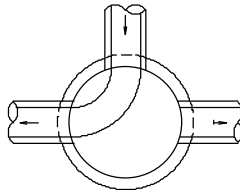
タイプE



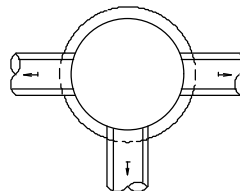
タイプF



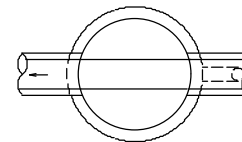
タイプG



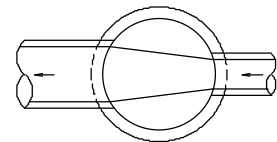
タイプH



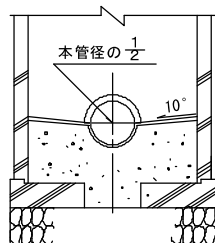
タイプI



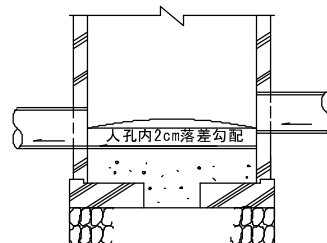
タイプJ



インバート横断勾配

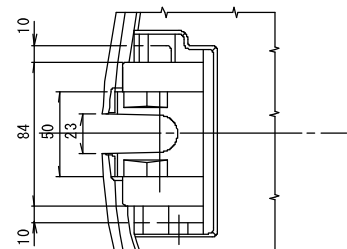


インバート縦断勾配

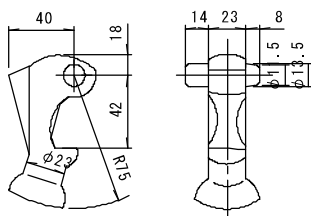


図名	マンホールインバート工標準図			
分類	4-8	縮尺	—	図番
可児市水道部下水道課				

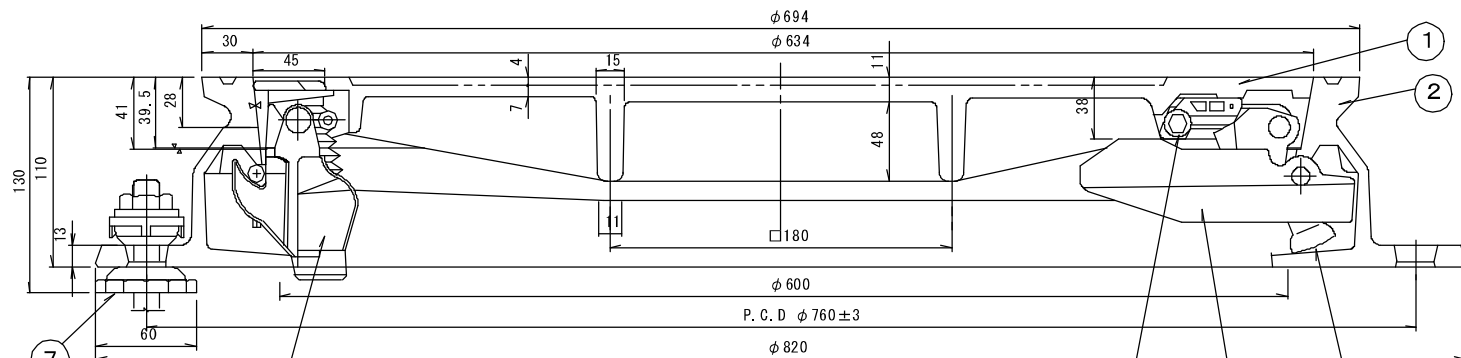
車道用人孔蓋標準図 (T-14)



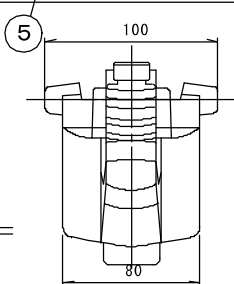
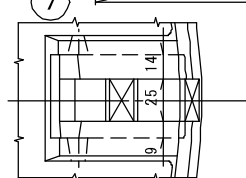
シールロック取付座詳細図



③ コネクタ詳細図

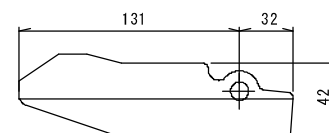
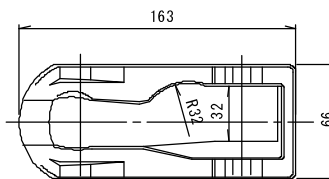


コネクタ取付座詳細図

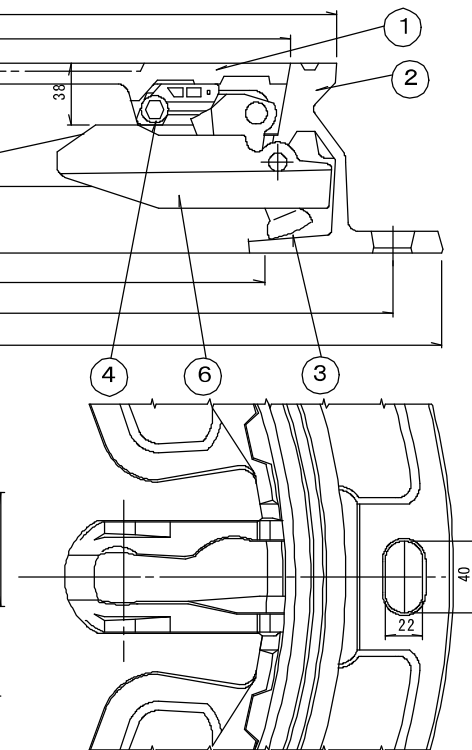


⑤ シールロック詳細図

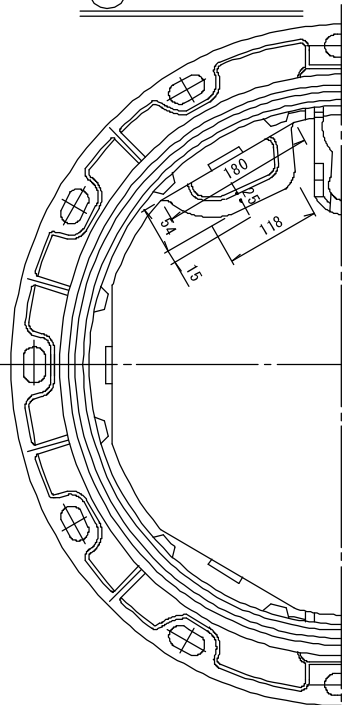
カバー・フレーム断面図



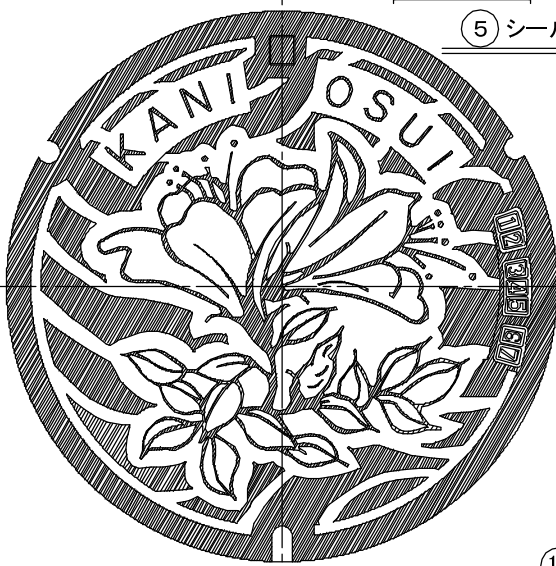
⑥ コネクタガイド詳細図



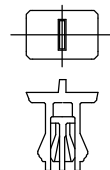
フレーム、コネクタガイド取付詳細図



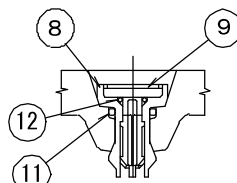
② フレーム平面図 (1:6)



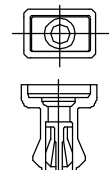
① カバー平面図 (1:6)



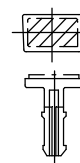
⑩ 仮キャップ



キャップ取付断面図



⑧ 外枠キャップ詳細図



⑨ キャップ詳細図

品 番	名 称	材 質	個 数	備 考
1	カバー (蓋)	FCD700	1	
2	フレーム (枠)	FCD600	1	
3	コネクタ (蝶番)	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
5	シールロック	FCD600	1	ボルト・Uナット
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
7	AJフレームホルダ	ポリアセタル他	3	
8	外枠キャップ	ナイロン	7	
9	キャップ	ナイロン	7	
10	仮キャップ	ナイロン	—	
11	リング大	ニトリルゴム	7	
12	リング小	ニトリルゴム	7	

図 名	車道用人孔蓋T-14 (無収縮モルタル用) 参考図			
分類	4-11	縮 尺	—	図 番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				